

# 総務文教常任委員会会議録

(令和4年8月24日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会総務文教常任委員会会議録

本日の会議 令和4年8月24日(水)  
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	石川 秀夫	副委員長	尾崎 恵一
委員	池田 栄次	委員	金 繁典子
委員	原田 達也	委員	那 須 芳人
委員	吉村 直城		

欠席委員

なし

出席委員外議員

なし

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	本多 幸雄	局長補佐	小松 一恵
--------	-------	------	-------

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

- (1) 所管事務調査(取りまとめ)  
 「へき地における学校教育の調査研究について」
- (2) その他

開 会 9時30分

閉 会 9時46分

○尾崎副委員長 皆さん、おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから総務文教常任委員会を開催いたします。会に先立ちまして、石川委員長より御挨拶をお願いいたします。

○石川委員長 おはようございます。本日は早朝にもかかわらず、全員の出席をいただきましてありがとうございます。コロナのほうもなかなか落ち着かず、中村知事のほうから行動制限をするような話も出てきていますので、皆さんも十分コロナの基本的な感染対策を行っていただきたいと思います。

本日は、報告書がまとまりまして、先日、皆さんのお手元のほうに御連絡させていただきました。この報告書の内容について、皆さんの御意見がありましたら、御審議いただきたいというふうに思います。

以上です。

○尾崎副委員長 早速、会を始めたいと思います。進行取りまとめ、委員長、お願いいたします。

○石川委員長 早速ですが、もう短時間なので、報告書を見ていただいたと思いますので、御意見のある方、挙手を願いたいと思います。よろしくお願いします。

本多事務局長。

○本多事務局長 報告書の件ではないんですが、先般、8月8日に砥部町の山村留学センターに現地視察に行ってもらった際に、質問した事項についての回答が返ってきておりますので、報告させていただきます。

旧高市小学校、これが平成29年3月31日に閉校しているんですけども、その施設について、普通財産への移行はいつだったのかという質問があったかと思います。それについての回答が返ってきております。

2つに分かれておまして、まず一つ、運動場と体育館については、これは普通財産への移行ということではなくて、用途変更で、行政財産のまま社会体育施設に移行ということになるんですが、これが平成29年4月1日、閉校の翌日になります。

もう一つ、校舎・プールなんですけども、これにつきましては、令和2年8月11日に普通財産に移行されております。閉校から約3年4か月が経過しているということとなります。

以上です。

○石川委員長 プールと校舎が令和2年ということは、3年ぐらい経過して行政財産から普通財産へ変更されたということですね。はい。

那須委員。

○那須委員 この報告書はよくできていると思いますが、少し気になるところがありまして、4ページの家串小学校に訪問した際の報告書なんですけれども、最後の段ですね、私もちょっと、ちょっと冗談半分で聞いたような感じなんですけれども、30分程度かかるため小学生が嘔吐するという。

これはね、個人が特定されると思うんですよ。私、ここのおじいちゃんをよく知っていて、で、親御さんもその、ちょっと体が、低学年ですので心配して嘔吐のための袋を持たしたり、で、スクールバスのドライバーも降車前に気を遣ってやってくれたりするんですけども、ちょっとこういうふうな特定されるような書き方はどうかなというふうな気がして、ちょっとこの部分は考えてあげてもいいんじゃないかなというふうな気がしましたのと、それから、最後の6ページの真ん中辺りに、スクールバスでの長時間通学の生徒の精神的・身体的な負担をどう克服するのか課題があるのではという、これはもうそのとおりで、で、これがこれから愛南町が迎える学校統廃合の遠距離通学のマイナスの部分ではあると思うんですよ。で、この部分を克服するのはなかなか距離的には難しいし。で、私はもう一つ踏み込んで、スクールバスというか、学校教育はスクールバスに乗ってから降りるまでが教育だというふうな捉え方をして、スクールバスの在り方そのものを、うん、もう少し考える必要があるんじゃないかなというふうな気がしまして、ここはちょっと付け加えていただけたらというふうに思うんですが。

○石川委員長 最初に質問いただいた件なのですが、4ページの、ここの部分は私が行った際に、徳田校長のほうから聞いたものを、そのままこの報告書に載せさせていただいたということで、あのときの話では、小学1年生と、において30分程度スクールバスでかかかるので、時々その車酔いをしているというような話があったので、それはちょっと書かさせていただいたんですけど、ここの部分、特定されるというのであればどういう表現にされますか。

○那須委員 やっぱり遠距離間通学、スクールバスでの通学には身体的負担が大きいというぐらいにとどめたらどうでしょうかね。嘔吐とかってというのは、私はちょっと必要ないというふうに思うんですが。

○石川委員長 原田委員。

○原田委員 私も今のところがちょっと気になっているんですが、やはり特定の児童っていうのがどうもこれで、この表現では分かりそうなので、特定できそうなので、この部分はもう削除してもいいんじゃないかと、そのように思うわけです。

それともう一点、2ページの下段のほうの、今後のスケジュールってところありますけど、委員長、副委員長に一任、それとその下にも委員長、副委員長に一任とありますが、ここまで記載する必要はないのではないかなというふうに私は思います。

以上です。その点、気がついたところなんですが。

○石川委員長 それでは、ほかに御意見ありませんか。今の質問の件に関してでもいいですし、その他でも。

金繁委員。

○金繁委員 先ほど那須委員がおっしゃった6ページの長時間通学の身体的・精神的負担、もっと踏み込んでっていうのは具体的にどんなことを考えていらっしゃるでしょうか。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 突然言われてもですけども、これからスクールバスと遠距離が増えると思うんですよ。

で、例えばですよ、学校教育では道草をせずに帰りなさいというふうな指導をしますが、魚神山、網代まで帰るのであれば、私むしろ道草したほうが良いと思うぐらいですよ。春の花をちょっと降りて見たり、アケビがなつとるところを見たり、ヤマモモがなつとるところを見たりという、そういったこと、ただスクールバスは児童の運送だけではなくて、乗ってから降りるまで、ドライバーさんには大変やろうけども、そういったところが必要なんで、スクールバスそのものを少し考え直すべきなんじゃないかなというふうに思って、まあちょっと言いましたけど、例え話ですいませんでした。

○石川委員長 金繁委員。

○金繁委員 そうですよ、例えばその10分乗っていて、間隔を空けて10分歩いてもらうとか、そういうことをすればね、嘔吐も防げたりしますもんね。なるほど。はい。ぜひそれを入れたらいいんじゃないかと思えます。

で、最初の嘔吐に関してなんですけど、これで個人が特定されて何がまずいかなということはずっと考えていたんですけども、本人一人しかいらっしやらないので、本人がドキッとするかかなというぐらいではね、ですけど、先ほど那須委員がおっしゃられたみたいに、身体的負担が大きいとか、そういう言い方もいいのではないかなと思いました。やっぱりこれは通学のやっぱり負担のリアリティなので、それはやっぱり書かれるっていうのはいいと思うんですよ、はい、私はそう思います。

○石川委員長 ほかに御意見ありませんか。

ないようですので、今、御要望いただきました件ですが、まず2ページ、原田委員から御指摘あったところの委員長、副委員長に一任という言葉は、ここの部分だけを削除したいなというふうに思います。

それと4ページ、4ページについては、嘔吐するという部分を省きたいなど、削除したいなというふうに思います。

あと6ページ、6ページはちょっと私も思いつかないんですが、課題がある、改善を求めたいと、まあ改善いったら、もうほかに何か方法あるんかということなんですけど、いろんな方法があるかとは思いますが、例えば道路を整備するだとか、長時間になりますからスクールバスじゃなくて寄宿舎っていう方法もあるでしょうし、いろんな方法があるかとは思いますが、その部分については、こちら側が考えるんじゃなくて、執行部側に検討していただきたいというような書き方に変更をしたいと思いますのですが、それでよろしいですか。

金繁委員。

○金繁委員 あと一点、ぜひ追加していただきたいんですけど、6ページの山村留学センターでのお話の中で、確かに子供だけを留学してもらって受け入れるっていうのはもう行政の負担も物すごいですし、大変なんですけども、全国的に家族ぐるみでの移住的な受入れが増えてくると、それはもう数字見ても顕著だったんで、ということをおっしゃられていて、帰ってきてこの場でも私も言ったと思うんですけど、やっぱり全国的にはそういう傾向にあるっていうことを一言、最後に付け加えていただけるとありがたいのですが、いかがでしょうか。

○石川委員長 その移住とセットにしたような形のことも全国的にはあるんですけど、あくまで砥部町の山村留学について調査研究ということで、そこまで広げる必要性は僕はないんじゃないかなと。実態としてはそういうことがあるということは、理解はしますが、今回の砥部町の山村留学についてはそういうことはなかったの、そこまで私は書く必要がないんじゃないかなというふうに思います。それはまた別のことで取り上げるべきじゃないかなというふうに私は思っています。

一応そういうことで、もともとこれ委員長、副委員長一任ということで今、確認していただいたので、一応私のほうでもう一回その辺り、皆さんの御意見を頂きましたので、まとめさせていただきますので、よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○尾崎副委員長 そしたら意見も出尽くしたようなので、この会を閉じたいと思います。お疲れさまでした。

委員長